

平成15年度新規箇所 評価結果

事業名	本庄新都心土地区画整理事業		都市名	本庄市
施行者	地域振興整備公団		施行面積	153.8 ha
事業概要	本地区は本庄地方拠点都市地域(平成7年基本計画承認)における中核として位置づけられ、早稲田リサーチパーク地区整備事業及び平成16年開業の上越新幹線(仮称)本庄新駅とあわせ、新幹線新駅周辺において、土地区画整理事業により良好な都市環境を備えた市街地の形成を図るものである。			
目的・必要性	本地区は、隣接する早稲田リサーチパークにおける頭脳集積、新幹線新駅開業における新たな広域交通体系により拠点性がさらに高まり、本庄地方拠点都市地域の発展を先導する役割を担っている。本事業は、東京圏との近接性、豊かな自然環境や歴史的資源などの恵まれた地域資源を活用した基盤整備により、ゆとりと魅力ある地域づくりをすすめることを目的としている。			
費用便益比	B/C 9.37	総便益 1057.72億円 走行時間短縮便益：1023.40億円 走行費用減少便益：34.39億円 交通事故減少便益：-0.07億円	総費用 112.89億円 事業費：110.62億円 維持管理費：2.27億円	基準年 平成 15年
効果等	<ul style="list-style-type: none"> ■先導的な施策に係る事業(上越新幹線本庄新駅設置、早稲田リサーチパーク整備との一体的な基盤整備) ■中心市街地へ至る現道の混雑度1.0以上を改善 ■公共交通機関の利用の促進に資する(駅前広場、アクセス道路) ■特別立法に基づく事業(地方拠点法) 			
関係自治体等の意見	<p>本庄新都心土地区画整理事業は、「職・住・遊・学」の諸機能を備えた、本庄地方拠点都市地域の発展を先導するものであり、早稲田リサーチパークの整備と一体となった、国際的な研究開発交流拠点の形成や埼玉県北の玄関にふさわしい魅力ある都市づくりに寄与するものである。</p>			
事業概要図				